

年度 2008 学期 前期	曜日・校時	金曜・2校時	必修選択 選択	単位数 2
授業科目/(英語名)	言語と芸術(音楽における表現について) Language and Art (Expression in Music)			
対象年次 1・2年次	講義形態 講義	教室 教育学部音楽棟2階、2番教室		
対象学生(クラス等)	全学部	科目分類	人文・社会科学科目	
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 担当教員: 加納 暁子 / Eメールアドレス: k-akiko@nagasaki-u.ac.jp / 研究室: 教育学部音楽棟3階 303号室 / TEL: 095-819-2346 / オフィスアワー: 金曜日5校時				
担当教員(オムニバス科目等)				
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 (500文字) 授業のねらい: ①音楽における表現の原理の基礎について理解する。②西洋音楽史を概観しながら、各時代における表現の諸様相について理解する。③音楽による表現力を身につける。 授業方法: ①音楽における表現の原理について文献をとおして学習する。②西洋音楽史を概観しながら、各時代における表現形式、社会情勢など表現の背景となったものとの関連について考察を深める。③最終的には受講生自らが表現活動を行うことにより、表現とは何かという課題について実践を通して学習する。 授業到達目標: 西洋音楽史における各時代の表現形式の特徴及び変遷について、歴史的背景との関連も含めて説明できる。また、表現の原理を理解したうえで、自ら音楽表現を行うことができる。				
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む) (1300文字) 授業内容(概要) 第1回 ガイダンス 第2回 表現の原理について(文献講読) 第3回 表現とは何か(DVD) 第4回 古代、中世、ルネサンス時代における音楽表現(宗教音楽、及び古楽器の観点から) 第5回 バロック時代における音楽表現(宗教音楽、器楽表現の観点から) 第6回 古典派における音楽表現(器楽表現、交響曲、室内楽の観点から) 第7回 ロマン派における音楽表現(歌曲、標題音楽の観点から) 第8回 舞台芸術における音楽表現(オペラの鑑賞) 第9回 舞台芸術における音楽表現(オペラの鑑賞) 第10回 印象派、現代音楽における音楽表現 第11回 表現活動 第12回 表現活動 第13回 表現活動 第14回 最終発表会 第15回 全授業の総括(試験を含む)				
キーワード				
教科書・教材・参考書	授業の進行に合わせ、その都度指示する。			
成績評価の方法・基準等	最終試験 50%、最終発表 30%、授業内におけるレポート 10%、授業中の課題に対する積極的は取り組み状況 10%			
受講要件(履修条件)	音楽に対して興味・関心の高い学生の受講を希望します。なお、準備する楽器の都合により、音楽棟2番教室にて講義をおこないますので、受講者数を36名(先着)に限定します。			
本科目の位置づけ/学習・教育目標				
備考(準備学習等)				